

広島市青少年センターだより 7/15~8/14 の休館日
(毎週火曜日、7/23、8/13)

講座・イベント情報

こねら Café

「手作り！エビ・カレー味のおかき&グミ」

かりかり・プニプニの食感が楽しい 2 種類のお菓子を作ります。

- 日 時 8/23 (土) 13:30-16:30
- 場 所 青少年センター 生活実習室
- 対 象 小学生~30 歳まで(小学生は保護者同伴)
- 定 員 8 名 (抽選)
- 費 用 1,000 円
- 申し込み 8/17(日)まで

被爆樹木が伝える平和プロジェクト 1 本のいのちの下で

被爆樹木のフォトグラム公開制作・ワークショップ・ライブを開催。

- 日 時 8/6 (水) 8:15-16:45
- 場 所 シンレヤナギ(中区基町 14)、青少年センター ロビー
- 対 象 どなたでも
- 費 用 無料(ワークショップ希望者のみ 500 円)
- 申し込み 不要

こども科学教室「しゃぼん玉」

変わった形のしゃぼん玉を作って、表面張力について学ぼう！

- 日 時 8/17 (日) 10:00-12:00
- 場 所 青少年センター 第三集会室
- 対 象 小学生
- 定 員 35 名(先着)
- 費 用 無料
- 持ち物 汚れても良い服装、水中メガネ
- 申し込み 8/3(日)まで

広島県高校軽音楽部応援企画 バンドクリニック

バンド演奏や各楽器でのステージパフォーマンスをプロから学ぶ。

- 日 時 8/30 (土) 13:00-16:00
9/13 (土) 10:00-16:00【全 2 回】
- 場 所 青少年センター 第一音楽室
- 対 象 高校生~30 歳まで、全 2 回に参加できる方
- 定 員 3 バンド程度
演奏時間 15 分以内 (1・2 曲からでも可)
- 費 用 無料
- 申し込み 8/25(月)までに応募用紙を持参・郵送・FAX
または LINE へ

CLOVER 夏休みおはなし会

高校生ボランティアによる、おはなし会をひらきます！

キッズスペースや手遊びもありますよ！

- 日 時 7/25 (金)~28 (月)
8/21 (木)~25 (月)
13:00-16:00
- 場 所 青少年センター 1 階ロビー
- 対 象 幼児~小学 2 年生程度まで(保護者同伴)
- 費 用 無料
- 申し込み 不要

= 講座・イベント申し込み方法 =

電話、FAX、E-mail、公式 LINE で**申込必要事項**(事業名、氏名、年齢・学校名、電話番号)を添えて青少年センターにお申し込みください。

参加費は事業の初回にお持ちください。場所は特に明記が無ければ青少年センターで行います。

TEL/082-228-0447 FAX/082-228-7074 メール/y-center@cf.city.hiroshima.jp

※申し込みの際にお知らせいただいた氏名、年齢、連絡先等の個人情報は、当人の許可なく事業以外の目的では使用しません。

= お得な情報をいちはやく。 =

○公式 LINE



○公式 Facebook



○公式 X



このコーナーでは毎月、青少年センターできらりと光る若者を紹介します

センター★ワカモノの顔 vol.36 「高校生ライブハウス」今年も開催！

「高校生ライブハウス」とは、高校生による高校生のための軽音楽ライブです。イベントの企画から当日の運営に至るまで高校生スタッフが主体的に取り組んでいます。毎年ライブの名称をスタッフみんなで考えていますが、今年度は「広島軽音万博 2025」という名称になりました。「初めてでも楽しめる」「バンドのストーリーを語る」「個性はみ出す」という色々な思いが込められた名称となっております。若き音楽の力をぜひご照覧あれ！

開催日時：7月26日(土)

開場 10:00~

開演 10:30~ (予定)

開催場所：青少年センター ホール

入場料無料

運営の学生の方のコメント▶



7/26 (土) に高校生ライブハウスが行われます。高校生ライブハウスでは様々な学年や学校の高校生が演奏を披露してくれます。運営を担当する学生として私は会場の進行をスムーズに行う事を頑張ります！ライブハウスは大人だけが出演の場ではなく高校生でも大活躍する機会です！ぜひお越しください♪



▲昨年度の高校生ライブハウス「Re:Start LIVE2024」の開催の様子 (2 枚)



第 3 土曜日の交流スペースすきっぱはうすでは、読書会(参加費無料！)を行っています。その中で紹介された本の中から、至極の 1 冊をチョイス！



今後の「すきっぱはうす」
7/19(土) 8/16(土)
14:00~読書会
15:00~なごみのラジオ

今月のおすすめ本 担当：もふもふ

『3 万冊の本を救ったアリーヤさんの大作戦 図書館員の本当のお話』

著者 マーク・アラン・スタマティ 訳：徳永里砂

2012 年 12 月 出版 国書刊行会

舞台は 2003 年のイラク。第二の都市バスラにある中央図書館の主任司書アリーヤさんが主人公です。当時はイラク戦争の足音がひたひたと迫りくるころ。アリーヤさんは、ニュースを耳にするたびに幼い時に本を通して知った「バグダードの大図書館の悲劇」(1258 年のモンゴル軍侵攻による図書館の破壊。沢山の本が川に投げ込まれ、インクで川の水が黒く染まったという逸話がある。)を思い出します。

戦争から本を守るために立ち上がり行動していくアリーヤさんの姿が力強く描かれています。

戦後 80 年の今も、悲しいことに、世界から戦争はなくなっていません。

今を生きる私達に何ができるか？考えてみませんか？